

「第3期萩市総合戦略（素案）」に関する  
ご意見の概要と市の考え方

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>第2期総合戦略の目標を達成したかどうか、うまくいった点、いかなかった点等の考察を同時に示すべき。</p> <p>第3期総合戦略は、この考察を基に話をするべき。</p>	<p>萩市総合戦略は、毎年、重要業績評価指標（KPI）の達成状況や施策の進捗状況を把握することで、実施した施策・事業の効果を検証し、公表しており、第2期萩市総合戦略の基本目標やKPIの達成状況などを踏まえ、第3期萩市総合戦略を作成しています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>KPIとして目標値が書かれているが、目標をわざわざ書くのであれば、前回の実績から計算した計算式等、十分に実現可能と思える根拠を書き、達成する事にこだわるべきで、ただ数字だけを書き、達成にこだわらないのであれば、今より良くするという意気込みを書いているに過ぎない。</p> <p>そして同時に、達成にこだわるべき事なのか吟味するべき。利益かコストが非常に大きいなら達成にこだわるべき。</p> <p>達成にこだわらないのであれば、目標値を設定する意味はなく、実績を追って考察すればよいだけ。</p>	<p>第3期萩市総合戦略の各目標値につきましては、達成を目指すものとして設定しています。</p> <p>総合戦略内には、計算式など達成までの根拠の記載はありませんが、毎年、KPIの達成状況や施策の進捗状況を把握することで、目標値の達成に向けて、施策や事業の改善を図ることとしています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>コストの話が全く無い。</p> <p>まず、萩市の年間予算の円グラフを示し、支出のうちのどの部分の話なのかを示すべき。</p> <p>また、目標値があるが、各項目に市職員の人件費を含むコストをいくらかけるのか金額を入れ、割合が分かるように円グラフを示すべき。</p>	<p>萩市総合戦略は、基本的な施策の方向や施策の基本目標、具体的な取組をまとめた計画であり、取組内容は多岐にわたります。</p> <p>人件費を含む萩市の歳出予算のほぼ全てが、第3期萩市総合戦略の取組に関係するものであり、コストについては予算資料として公表しています。また、毎年の施策や事業の効果検証において、費用対効果についても検証してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>目標値から自然増減（行政が何もしなくても増減する分）は除外し、行政の活動により増やそうとしている数字を示すべき。</p>	<p>人口の自然増減に影響する出生数についても増加を図る取組を行っています。KPIの目標値は、行政活動である萩市の取組の結果、増加させようとしている数値としています。</p>

5	一部、累計で数字が出ているが、年平均で出すべき。	<p>KPI の各年の実績値や目標値までの進捗を分かりやすいものにするため、累計を用いています。</p> <p>年平均を用いることで進捗や効果の把握を適切に行うことができる指標がある場合には、年平均を用いることとしています。</p>
6	例えば何かの事業で新しく一人を獲得した事を成果としてカウントする場合、それにいくらのコストをかけたか計算し、成果に見合っているか考察が必要	<p>毎年の施策や事業の効果検証において、費用対効果についても検証してまいります。</p>
7	目標値は数を増やすことを目標にするのではなく、コストパフォーマンス（1万円で成果をいくつ獲得したか）を目標にするべき。	<p>目標値は、施策や事業の効果により、現状値からどれほどの増減があったかを測るものとして設定していますので、主には、数値を増減させることが目標になっています。</p> <p>コストパフォーマンスを用いることで進捗や効果の把握を適切に行うことができる指標がある場合には、コストパフォーマンスを用いることとしています。</p>
8	人口減少対策をメインに掲げ、4万人を維持する事が目標かのように書いているが、出生率が劇的に変わらない限り人口減少は確定しており、出生率を国の政策で変化させる事は可能であっても萩市の政策で変化させるのは困難なので、人口が減る事を前提にした政策の話をするべき。	<p>行政基盤を維持・充実するためには、人口の維持が必要であることから、萩市では、人口減少を最も重要な課題と位置付け、人口減少に歯止めをかけるため、第3期萩市総合戦略において人口の維持や出生数の増加を基本目標に掲げ、施策に取り組むこととしています。</p> <p>国の政策を注視しながら、萩市としてできる限りの施策を実施してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
9	単に人口を増やしたいのであれば工場、学校などを誘致するべき。	<p>工場や学校などの誘致は、人口の増加の点では効果的であることから、第3期萩市総合戦略においても、「IV産業活力があふれるまちづくり」の項目に企業誘致の推進を施策として掲げるなど、引き続き、関連施策に取り組んでまいります。</p>
10	<p>人口密度や偏在の問題ならそれを目標に掲げるべき。</p> <p>しかし、それを改善しようとする自由に住む場所を選べないような政策となるから止めた方がいい。</p>	<p>萩市では、広大な面積を有する中、旧萩地域に人口が集中していますが、各地域におけるコミュニティ、伝統や文化を守るためには、各地域の人口の維持も重要です。</p> <p>そのため、人口密度や偏在解消に関する目標を設定してはいません。</p>

11	<p>萩市の人口は5万人を切り、市の要件の原則を満たしていないので、萩町になるという選択もある。</p> <p>誘致をせず、密度等の問題でもなく、町にもならず、総数が増えればよいということなら長門市と合併すべき。</p>	<p>市の在り方に関するもので、人口の問題だけに留まるものではありません。</p> <p>なお、現在、町制への移行や他の自治体との合併は予定していません。</p>
12	<p>人口減少対策をメインにする限り、永遠に終わらない同じ目標を每期更新していくだけになり市政が停滞する。</p>	<p>第3期萩市総合戦略においては、人口減少を最も重要な課題と位置付け、人口減少に歯止めをかけるため、人口に重点を置いた基本目標を掲げておりますが、各分野の課題に対応する施策を位置付け、施策を推進する考えです。</p>
13	<p>人口が減った時は周辺の自治体と合併や協力をするしかないわけで、それを前提に目標を定めるべき。</p>	<p>他の自治体との合併は予定しておりませんが、周辺自治体とはごみ処理や消防業務を、また、観光分野などで他の自治体と事業を連携して行うなど、今の萩市としてできる限りの施策を、より効果的に進めることとしています。</p>
14	<p>実際、病院の統合を計画しているのは人口に見合った物にする為であり、その先には市町村合併や、医療圏の拡大がある。その時、中核病院がどこになるかの予測の基に今から道路整備の計画等を考えてもいい。</p>	<p>萩の医療は医療従事者の不足や高齢化といった課題に直面しており、医療人材をはじめ限られた医療資源を有効に活用し、将来にわたり医療提供体制が維持できるよう、中核病院づくりに取り組んでいます。</p> <p>いただきました、中核病院づくりに伴う道路整備等の計画のご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>人口が減らないように努力するではなく、減ったらこうするから大丈夫というような書き方にすべき。</p> <p>人口対策の為に使おうとしている予算や人的リソースを別の事に使うべき。</p>	<p>第3期萩市総合戦略においては、まずは人口が減少する前に、今、取り組むべき施策を掲げ、人口減少に歯止めをかけることとしています。</p> <p>なお、人口減少対策以外に取り組むべき施策についても、必要な予算や人員を確保してまいります。</p>
16	<p>人口が少なくなれば、その分地方交付税交付金や税収が減り、市の予算は縮小するが、その分支出を削減可能であり、必ずしも財政が苦しくなるわけではないし、人々が必ず不幸になるわけでもない。スーパーの数が減り、病院が小さくなり、バスや船が小さくなり、レベルは下がるが生活は可能</p>	<p>引き続き、萩市の実情に応じた適正な予算の確保に努め、住民生活を守るために必要な事業を実施してまいります。</p>

17	離島は川内があるから生活可能。島に高齢者はいるが普通に生活していると思う。	離島で生活される方の生活に不便を生じることのないよう、引き続き、必要な事業を実施してまいります。
18	中山間地域の高齢者の生活といった問題は交通、物流、通信等、現状可能な方法で検討するべきで、人口減を抑制することで解決するものではない。	<p>住み慣れた地域での生活を維持するためにはコミュニティを守る必要があること、また、中山間地域の高齢者の生活に係る課題は、ご意見にある交通機能を活用することに加え、コミュニティによる支え合い活動により解消を図る取組を行うこととしています。</p> <p>こうしたことから、人口減少の抑制を図る施策が必要と考えています。</p>
19	<p>「集落活動の継続が深刻化し、集落機能の維持さえも危惧されています。」とある。「集落活動」とか「集落機能」という言葉は行政においてはよく使われるのかもしれないが、一般的には使われないので言葉を置き換えるか注釈を入れたうえで、どこで何が起きているのか具体例を書くべき。具体例がわからなければ、重要な事なのか判断がつかない。</p>	<p>「総合戦略の策定趣旨」において、萩市の中山間地域の実情を記載したもので、萩市全域、特に旧萩地域を除く地域のことを差しています。今後は、より分かりやすい用語の使用などに努めてまいります。</p>
20	<p>「買い物、医療等の日常生活に必要なサービス機能の維持が困難となるおそれがあります。」とあるが必要と思うレベルを決めて人口を維持しようとするのではなく、人口に応じて維持できるレベルを決めるべき。中山間地域については、診療所やスーパーが人口何人まで維持できるか調査、もしくは維持するか検討し、人口推移から何時まで維持可能か公表し対応を議論すべき。川内について言うと、スーパーは過剰とも思えるくらいあるし歯科医院も何軒かある。大きな病院は二つあり、医師が合わせて34人いて、統合する計画ということなので、まだ維持が困難となる恐れと言うほどにはなっていないと思う。将来的には病院の規模が小さくなり、手術等、高度な医療ができなくなり、最終的には病院が無くなるかもしれないが、必要が出てきた時点で予測を出し対応を議論すべき。</p>	<p>中核病院づくりは、医療従事者の不足や高齢化といった課題がある中、医療人材をはじめ限られた医療資源を有効に活用し、将来にわたり医療提供体制が維持できるよう取り組んでいるものです。</p> <p>また、人口減少対策に取り組むことと併せて、人口規模や利用率など各地域の実情に応じた行政サービスの見直しは、必要に応じて行うこととしています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

21	川内が維持できなくなる時は萩市が今の形では存在しなくなる時であり、今からそれを見越して考えるべき。	人口減少を抑制し、人口規模を維持することを目標とし、その対策を図る施策を進めてまいります。
22	産業振興で雇用の場を作り沢山の若者が働き、結婚し、子供を育てるとするのは幻想。今まで萩市は実現できなかったわけだし、同じような状況で実現できてる地方自治体も無い。何かリスクがあることを試してみるという事でなければこの傾向が変わることはない。雇用は無いが都市には無いよさがあるという点を売りにすべき。働かなくても生活できる人やネットや郵便があれば仕事ができるという人を転入のターゲットにするべき。	「IV産業活力があふれるまちづくり」の項目において、サテライトオフィスの誘致や、テレワークの推進を取組として掲げ、萩市に住みながら都市部と同じ仕事ができる環境を整えることで、雇用の確保や移住・定住を促進してまいります。
23	政策で一時的に労働力人口を増やしても、いずれその人達も年をとる。問題の先送りに過ぎない。	若年世代の萩市への流入や出産による人口の増加、また、将来の萩市を支える人材への成長という好循環を目指して施策を進めることとしています。
24	特定の地域産業、地場産業の維持といった事を行政が目標にするべきではない。儲かる仕事は残るし、儲からない仕事は残らない。行政は儲かる仕事をしようとしている人達の障害にならないように努めるべき。川内であっても廃墟のような元商業施設が散見される。人口減少中といっても数万人の人がいて比較的人口密度は高い。市外を相手にしてもいいわけだから、商売は成立するはず。法や条例や行政の対応が商売の障害になっていないか調べるべき。	「IV産業活力があふれるまちづくり」の項目において、中小企業へのデジタル化、事業拡大等への支援や企業・創業への支援などを施策として掲げ、特定の産業に限らず民間の企業活動を支援することで、地域産業、地場産業の維持・再生を図ることとしています。仮に条例等で商業活動の妨げになっているものがあれば、その目的等を考慮し、適宜、見直してまいります。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
25	人口対策よりも、利用しやすい商店を増やす方が先。 具体的に足りないものは、まず自転車・バイクの中古かレンタルをする店。移動できないことには何もできない。現状ある複数の業者の自転車レンタルを利用しやすくするように音頭を取って欲しい。 登録したICカードをタッチすると、どの業者の自転車もすぐに借りられて、クレジットで決済され、乗り捨て可能な場所が増えたら良い。車をICカードでレンタルできれば更に良い。設置について企業と交渉して欲しい。	公共交通や観光、交流人口の拡大などの観点をふまえて、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

	<p>萩港、東萩駅、バスセンター近く等に置いて欲しい。</p> <p>次に、飲食店。</p> <p>駅、バス停、港、スーパー、海水浴場等の近くに何も無い。何も無い訳ではないが実際利用するかという意味で無い場所が多い。ちょっと入って時間をつぶす場所が無い。</p> <p>ファミレス・居酒屋等は市の中心に集中し場所が限られるし、テイクアウト・デリバリーも少ない。中山間地域は人口的にしょうがないかもしれないが川内はもう少し飲食店があってもいいはず。</p> <p>24時間営業のネットカフェが無い。ネットカフェさえあれば緊急事態に対応できる。逆に言うとネットカフェが無い街を訪れるのは怖い。困った時の対処法が無い。</p>	
26	<p>萩市に限った事ではないが、それぞれの家の構造に合わせて、その場で部品を作って工作する、元の色と同じ色を塗る、欠けている部分を補修するといった工事で、少額の工事を積極的に行う工務店を探すのが大変。</p> <p>特に高所は足場が必要で、ちょっとした補修のために数十万円の見積額となる。安全第一の法や考え方が浸透したおかげであり、良い事かもしれないが、空家活用の障害になる。空家はたくさんあるので、そういう需要はたくさんあると思うが、手間やリスクの割には見積額が折り合わないから、あまり積極的ではないのだと思う。</p> <p>工務店がちょっとした補修を少額で引き受けてくれるようになるためにはどうしたらいいか考えて欲しい。</p>	<p>空家の利活用などの観点をふまえて、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>